

- 問1 後醍醐天皇が鎌倉幕府を倒した後に始めた「建武の新政」について、その政治の実態と歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 仏教の力で国家の安定を図るために、全国に国分寺を建立し、東大寺の大仏造営を通じて天皇の権威を高めた。 | 2. 天皇が中心となって公家を重用する政治を行ったが、恩賞の不公平さなどから武士の不満が高まり、わずか数年で崩壊した。 | 3. 律令制度を完全に復活させるため、全国の土地を公地公民とし、班田収授法に基づく税制を再び実施した。 | 4. 幕府を倒した功績により足利尊氏を征夷大将軍に任命し、武士の権利を全面的に認める強力な武家政治を確立した。 |
|---|---|---|---|
- 問2 東大寺南大門に安置されている金剛力士像の特徴と、その制作背景について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 唐から渡来した鑑真が伝えた技法に基づき、大陸の国際色豊かな文化を反映した、均整の取れた落ち着いた姿が特徴である。 | 2. 聖武天皇が仏教による国家の安定を願って建立したもので、銅造の表面に金メッキを施した巨大な造形が特徴である。 | 3. 藤原氏の摂関政治の繁栄を背景に、寄木造の技法を用いて制作された、貴族好みの優雅で繊細な表現が特徴である。 | 4. 運慶や快慶らによって制作され、当時の武士の力強さを反映した、写実的で躍動感あふれる表現が特徴である。 |
|---|--|---|---|
- 問3 鎌倉時代に描かれた定期市の様子を伝える資料には、多くの人々が集まる市のなかで、踊りながら念仏を唱えて布教活動を行う僧侶の姿が見られます。この人物が、民衆の救済を目指して開いた宗派の名称を答えなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 浄土真宗 | 2. 浄土宗 | 3. 臨済宗 | 4. 時宗 |
|---------|--------|--------|-------|
- 問4 鎌倉時代を代表する仏師である運慶の作風や活動背景について、正しく述べているものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 山の中で厳しい修行を行い、座禅によって自ら悟りを開くことを説く新しい宗派を広めた。 | 2. 幕府の保護を受けて中国（明）へ渡り、水墨画の技法を取り入れた新しい芸術の形式を確立した。 | 3. 武士の好みを反映した力強く写実的な彫刻を追求し、東大寺南大門の金剛力士像などを手がけた。 | 4. 念仏を唱えながら踊ることで、地方の武士や民衆の間に新しい仏教の信仰を広める活動を行った。 |
|--|---|---|---|
- 問5 源頼朝が、全国の国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置することを朝廷に認めさせた最大の狙いとして、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 源義経の追討を口実として、全国的な軍事・警察権や土地管理権を幕府が握るため | 2. 源義仲を討伐するための軍資金を、全国の農民から平等に徴収する仕組みを作るため | 3. 北条氏による執権政治を確立するために、朝廷が持つ裁判権をすべて鎌倉へ移すため | 4. 平氏の残党を完全に排除し、平氏が所有していた領地をすべて朝廷に返還するため |
|--|---|---|--|
- 問6 鎌倉時代初期、後鳥羽上皇が朝廷の文化的な伝統を誇示し、台頭する武士に対抗する意図を込めて編纂を命じた勅撰和歌集はどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 万葉集 | 2. 金槐和歌集 | 3. 新古今和歌集 | 4. 古今和歌集 |
|--------|----------|-----------|----------|
- 問7 鎌倉時代の武士の慣習では、親が持つ領地を後継ぎの嫡子だけでなく、複数の子供たちに分け与える相続が行われていました。このような相続方法を何と呼び、どのような結果を招きましたか。最も適切な組み合わせを選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 単独相続が行われ、長男以外の子供たちが自立して新しい領地を開拓した。 | 2. 分割相続が行われ、一族の人数が増えることで幕府に対する軍事的な影響力が高まった。 | 3. 分割相続が行われ、代を重ねるごとに一族が所有する領地が細分化された。 | 4. 単独相続が行われ、領地が分散するのを防いだため武士の生活は安定した。 |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問8 1221年に起こった承久の乱のあと、鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しい名称を選びなさい。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 1. 地頭 | 2. 京都所司代 | 3. 守護 | 4. 六波羅探題 |
|-------|----------|-------|----------|
- 問9 鎌倉幕府の「御恩」と「奉公」という仕組みにおいて、その関係性の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 朝廷が認めた貴族の領地を将軍が奪い、その土地を御家人に平等に分配して耕作させるとい、共同体的な関係。 | 2. 御家人が自らの意志で土地を将軍に献上し、その代償として将軍が御家人を官位に任命するという、名誉に基づいた関係。 | 3. 将軍が御家人の領地を保証する代わりに、御家人が軍役などの義務を果たすという、土地を仲立ちとした双方向の関係。 | 4. 将軍がすべての土地を直轄地とし、御家人がそこから得られる年貢を徴収して将軍に納めるという、一方的な従属関係。 |
|---|--|---|---|
- 問10 鎌倉時代になると、中国から流入した「宋銭」が社会に広く普及し、人々の生活に大きな影響を与えました。この宋銭の流通に関連する当時の社会状況の説明として、正しいものを一つ選びなさい。 (2023年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--------------------------------------|
| 1. 生糸を輸入するために大量の銀が海外へ流出し、国内の宋銭が不足する事態となった。 | 2. 日本独自の貨幣制度を確立するため、政府は宋銭の使用を禁止し、和同開珎の再発行を命じた。 | 3. 市場での取引が活発になり、年貢を米ではなく貨幣で納める「代銭納」という仕組みも現れた。 | 4. アヘンの輸入が問題となり、幕府は宋銭を使った貿易を厳しく制限した。 |
|--|--|--|--------------------------------------|
- 問11 鎌倉時代から室町時代にかけての日本の農業について述べた文として、当時の技術や社会背景をふまえて最も適切なものはどれですか。14世紀末の農業の様子を描いた絵巻物の記録などにに基づき、正しい内容を選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 石包丁を用いて稲の穂の部分だけを摘み取る収穫方法が全国に広まり、食料生産が安定した。 | 2. 海外輸出を目的とした製糸業が農村の副業として定着し、全国の耕地で桑の栽培が米より優先された。 | 3. 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。 | 4. 備中鍬と呼ばれる深く耕すための農具が発明されたことで、大規模な新田開発が幕府主導で進められた。 |
|---|---|---|--|
- 問12 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」の後、幕府は西日本の統治を強化しました。この出来事の戦後処理として、当時の日本の諸国の状況がどのように変化したか、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 九州北部への元軍の侵攻をきっかけとして、沿岸部の防備を固めるために、西日本の有力御家人が一斉に守護に任命された。 | 2. 後醍醐天皇による建武の新政に対抗するため、北条氏の勢力を排除しようとした武士たちが、各地で守護として自立し始めた。 | 3. 源頼朝が征夷大将軍に就任したことで、全国に守護と地頭を設置する権利が初めて認められ、北条氏がその実権を握るようになった。 | 4. 幕府に反抗した貴族や武士の領地が没収され、北条氏などの有力な御家人が新たに守護として配置されたことで、幕府の支配力が西日本まで拡大した。 |
|---|--|---|---|